



開発・生産拠点で

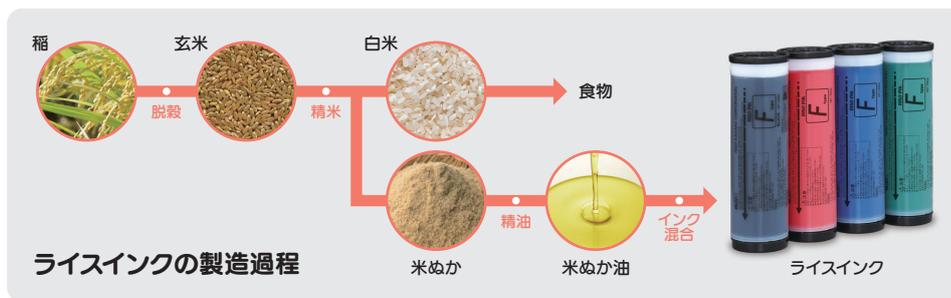
国産米ぬか油を使用したライスインクをカラー全22色に拡大

当社は、デジタル印刷機で使用するインクについても環境負荷の低減に取り組んでいます。米ぬかから抽出される米ぬか油に着目し、オフィス用プリンターとしては世界初となる品質安定性の高い「ライスインク」を開発しました。

国産の米ぬかを使用することにより、原料を輸入に頼るソイインクに比べて、原料輸送時のCO₂排出量を約87%低減(2016年当社調べ)しました。

また、廃棄物である米ぬかを有効活用することで廃棄物の削減に貢献。非食糧である米ぬか(米の副産物)を原料としているため、食糧不足の問題に配慮したインクの原料確保につなげています。

発売当初は黒色のみを提供していましたが、2017年にカラー全22色に拡大。さらにお客様からのオーダーに合わせて制作するオーダーカラーにも対応し、お客様の環境保護活動に、さらにお役立ていただけるようになりました。



調達・物流で

環境規制に対応 chemSHERPA説明会を開催

当社では部材・部品を納入いただくサプライヤー様に対して、含有化学物質情報の提供を要件としています。2016年度から、chemSHERPA^{※1}が運用開始されたことに伴い、JAMP^{※2}が推奨する情報伝達シートから含有化学物質調査の様式を切り替えることとしました。2017年9月に国内調達取引先の担当者約200名に対して、説明会を開催しました。



説明会の様子

※1 製品に含まれる化学物質を効率的に開示・伝達するため、経済産業省が開発した共通スキーム

※2 アーティクルマネジメント推進協議会

インクボトルやインクカートリッジを再生したリサイクルパレットを導入

2017年度には回収した使用済みインクボトルやインクカートリッジを再生樹脂にして成形したリサイクルパレットを筑波工場に導入し、活用しています。



筑波工場に導入したリサイクルパレット

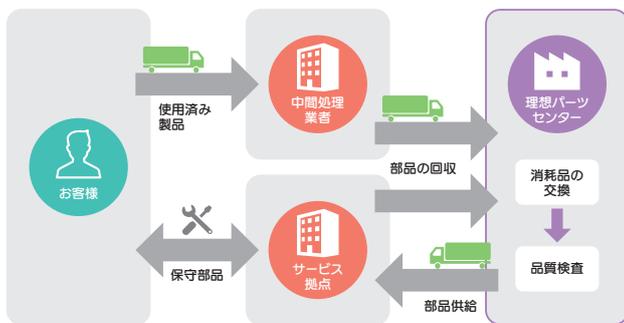


営業サービス活動で

使用済み製品・部品の リユースパーツ化を拡大

使用済みの製品・部品は可能な限り再利用を行っています。部品の一部はリユースパーツとして再利用するため回収され「理想パーツセンター」で消耗部品を交換し、品質検査を経て再度市場で利用されています。2017年度はリユースパーツの品目を拡大するとともに、その利用促進に積極的に取り組みました。

〈詳細はデータブックを参照：図表6、7〉

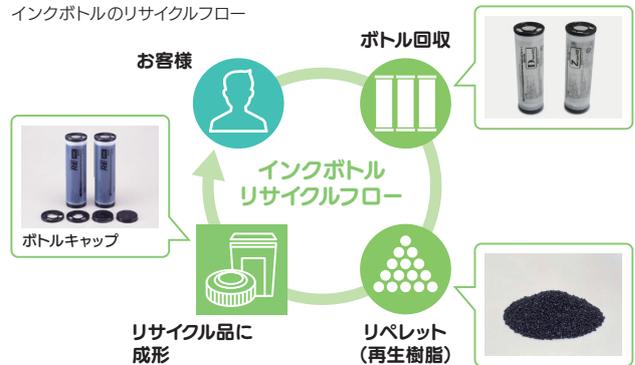


部品のリユースフロー

使用済みインクボトルを回収し、 リサイクル

消耗品であるインクボトルの回収・再資源化を積極的に進めています。回収した使用済みインクボトルは粉碎し再生樹脂としてリペレットに加工した後、さまざまなプラスチック製品に成形し、製品の一部として利用されるほか、販促品や運搬用パレットなどで再利用しています。

インクボトルのリサイクルフロー



ダストボックス



バスケット



リサイクルパレット



事業所で

ライトダウンキャンペーンに参加

当社は、環境省が地球温暖化防止の一環として毎年夏に日本全国で実施している「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に賛同し、参加しています。2017年度も夏至の6月21日およびクールアース・デーの7月7日、午後8時から10時までの2時間にわたり、筑波事業所と宇部事業所で一斉消灯を実施しました。



ライトダウンキャンペーンポスター

クールビズを実施

省エネによる温暖化対策として、電機・電子関係の業界団体が定めた行動指針に則り、毎年夏には、冷房温度を28℃とするとともに軽装での執務を奨励するクールビズを実施しています。

また、当社を訪問されるお取引先にも軽装での来社をお願いするとともに、告知・啓発用のポスターを作成し、社員一人ひとりの参加意識を高めています。



告知・啓発用ポスター